

令和2年2月15日  
北関東フォーラム  
於：シムックス

## 中斎塾 北関東フォーラム 令和2年度 第2回

### ウィルスとの戦い

世の中は今、新型コロナウイルスの話題で持ちきりです。シムックスも入り口にアルコール消毒液が置いてあります。やはり手洗い、うがいが重要ですね。皆さんご存知の通り、通常に売られているマスクは、ウィルスが自由自在に出入りします。ですから感染します。ただし、感染している人がマスクを付けていれば、人にうつさないという効果があるようです。大野参与曰く、武漢や中国の関係の人と会っている、特に濃厚接触がある人は、もうかかっていると思ってマスクをした方が良いということでした。

アメリカは中国全土からの渡航者の入国を禁止しましたが、日本の場合は、最初は武漢からの人、次に湖北省はだめ・・・という具合でしたから、政府の対応が後手後手です。

今朝の日経新聞に、大阪大微生物病研究会の理事長を務める山西弘一という先生のインタビュー記事が掲載されていて、「コロナワクチンの実用化は順調に進んでも約10年かかる」とありました。その中で気になったのは、「今後出てくると想定されている毒性の強い新型インフルエンザ向けのワクチンは、試験で性能が確認されている。しかし流行していないので実際に患者に注射した効果は分からない・・・」という文章です。

現在のコロナウィルス関連の話の中で、一番気にしなければならないのは、武漢で鳥のインフルエンザが発生したというニュースですが、それがほとんど伝わって来ません。武漢で鳥のインフルエンザが発生したということは、新型インフルエンザウィルスとコロナウィルスが合体して、新たな“化け物”が出来る危険性があるということです。

ということで、紹介書籍を回します。『新型インフルエンザ 完全予防ハンドブック』です。先日、著者の岡田晴恵さんがテレビに出ていて、「今、私が一番気にしているのは、鳥のインフルエンザが武漢で発生していることです・・・」と言っていました。2005年12月に厚労省が出した、鳥の新型インフルエンザが発生した場合の行動計画の策定では、感染者は3200万人、致死率を2%とした場合、日本人は64万人が死亡するという数字でした。それを上回る感染症が武漢で発生しつつある、というメッセージを岡田晴恵さんは出していると私は受けとめました。

ちなみに今回、日本政府が後手に回っているのは、サーズ(SARS)を想定して対応して

いたからです。クルーズ船の乗客全員（感染している人・感染の疑いがある人・感染していない人）を一つの船に閉じ込めて、感染が確認できれば病院に搬送するけれども、感染していない人は下船させませんでした。サーズは、感染した人を隔離することによって封じ込められたので、それと同じやり方をしたけれども、コロナウィルスは感染力が強すぎました。しかも、接触感染だけで空気感染はないと思っていました。マスコミの言う「濃厚接触」という言い方も変ですね。更には、「亡くなった80代の女性の娘・・・」という言い方をしていて、まるで犯罪人扱いです。これも、日本政府が基本的な所を間違えているからだと思っています。

我々はものを見る時に、本質・歴史・大局から考える必要があると申し上げています。新型コロナウイルスに関して、本質で見ると、＜人類が遭遇したことのない未知のウィルスとの戦い＞と考えればよい。歴史は、100年単位で見する必要があります。大局は、それぞれの国がどういう動きをしているかを見ればよろしいでしょう。

歴史で見ると、新型コロナウイルスに匹敵するのは、102年前に起きたスペインかぜです。公表されている数字で、世界で4000万人が亡くなったという記録があります。ただし、これにはアフリカ諸国がカウントされていないので、おそらく8000万人が亡くなっているという説があります。そのあと、39年後に出たのがアジアかぜで、200万人以上が亡くなっているという記録です。アジアかぜの11年後には香港かぜが出て、100万人以上が亡くなっています。日本で見ると、厚労省の記録でスペインかぜの時には28万人～45万人が亡くなっているとありますが、随分幅がありますね。もっとも、今回の中国政府発表の死亡者・感染者数にしても、基準を変えれば数字が大きく跳ね上がるわけです。

いずれにしても今回の新型コロナウイルスは感染力がかなり強いから、感染したら、又は危ないなと思ったら、どういう対応をしなければいけないかをしっかり見る必要があります。

先週の東京フォーラムで私がやっている対策をお話しましたので、参考までに申し上げます。まず、手洗いとうがい、アルコール消毒、それとマスクです。これは必ずやった方が良いでしょう。家の設備では、玄関の外で上着を脱いで吊るせるように金具をつけています。そうすれば太陽に当てられます。また、外に水道を作って手が洗えるようにしています。それから、家の中はそれぞれ独立した部屋にしてありますので、隔離できるような感覚です。

皆さんも最低限のやるべきことはしておく必要があります。家に入る前に手を洗えるようにしておくこと、外に上着を掛けられるようにしておくことくらいは誰でも出来ますか

らお勧めします。マスクは今、品薄になっていますが、暫くすれば出回ります。大野参与の会社はマスクも扱っているので、先日伺った時は注文の電話が鳴りっぱなしでした。マスクを中国へ輸出する場合、証明書等の必要書類をとるのに数日かかるそうですが、「その間、ウィルスは待っていないんですよ！」・・・というやり取りを、関係機関の役人としたそうです。大野参与は「ウィルス戦争」と言っておられました、本当に戦争状態です。既に三次感染が始まっているようですから、いつ自分が感染するか分からないと思って対応した方がよいでしょう。

### 論語解説

では、論語の視点に参ります。今日は微子篇 4・5 です。

【四】 齊人 女樂を帰る。季桓子 之を受け、三日 朝せず。孔子行る。

孔子が 55 歳、魯の国の大司寇（官房長官のような立場）となって政を行ったので、魯の国は安定し国力が充実したわけです。

その魯の国に対して、隣国の齊が美女 80 人の歌舞楽団を送った。・・・北朝鮮の美女軍団のようなものです。

季桓子は君子にも勧めてこれを見物し、君子は色気に溺れて、三日間も政治を執らなかつた。

それを見て孔子は愛想を尽かし、魯の国を去った。

色香でその国を滅ぼそうとする・・・これをコロナウィルスに当ててみましょう。

東京フォーラムの会員さんから送ってもらった資料があります。

中国共産党軍の最高権力機関である中央軍事委員会のウェブサイト「西陸網」で発表された情報によると、武漢肺炎ウィルスは人工合成で、アメリカが中国人を正確に狙い撃ちできるよう製造したものであるという内容です。これは中国共産党の軍事専門の権力機関が発表し、それをアメリカにいる中国人実業家が実名入りで公表し、日本語訳した日本人の名前も書いてあります。こういった資料は表に出ませんが、いずれにしても今、アメリカと中国で細菌戦争が始まっていると感じます。ちなみに、中国も似たようなものを開発していて、その痕跡は一切残さず埋めてしまっているという話も出ています。もちろんメディアには一切出ません。

少なくとも今回の新型コロナウィルスはコウモリではなく人為的なものだということ、騒ぎが一段落したら出てくるのではないかと考えています。こういうことで人類が滅亡す

る危険性があるのですから、とんでもない話です。

【五】楚の狂 接輿、歌いて孔子を過ぎて曰く、鳳や鳳や、何ぞ徳の衰えたる。往く者は諫むべからず。来る者は猶 追うべし。已みなん、已みなん。今の政に從う者は殆しと。孔子下りて之と言わんと欲す。趨りて之を辟く。之と言うことを得ず。

孔子が63歳の時で、陳の国にいました。戦国時代ですから、その頃、陳は呉に責められていて、それを楚の国が助けたわけです。楚が、陳にいた孔子を召喚したので、求めに応じて孔子が楚の国に行こうとした場面です。

楚の狂人の接輿（実は、狂人のふりをしている隠者）が、歌いながら孔子のそばを通りかかった。

「鳳や鳳や、・・・」と歌いながら、孔子に楚へ行くんじゃないと諫めています。鳳とは孔子を例えています。世の中に道徳が行き渡って素晴らしい国になっていると、それを愛でて霊鳥（鳳）が現れると言います。この歌の部分は貝塚先生の訳が楽しいので、ご紹介します。

「鳳よ、鳳よ おまえの徳はどうしてだめになったの。過ぎ去ったことをいうのはよし、これからどうするかを考えてごらん。おやめ、おやめ、今の政治に手を出すのはあぶないよ」

孔子が馬車から降りて話をしようと思ったが、接輿は小走りに去ってしまい語り合えなかった。

先ほど塚越参事が、不思議な出会い（御縁）という話をされました。逃げていった接輿は、孔子とのせつかくの出会い（縁）を活かさなかった。孔子も活かすことが出来なかったわけですが、我々は出会いを大切に、出来るだけ時間をとって深い話をするとよいですね。繋がり方が違うものになって来ます。

### 恒例の質問

では、恒例の質問に参ります。

○ 今年になって、良い日が続いていると思う方

「比較的」とお聞きすると、もっと手が挙がるのでしょうか。

○ 今年に入って、一度も嘘をついていない方

御一人おられます。

- 今年に入って、比較的、嘘をついていない方
- 今年に入って、有難うと言ひ、有難うと言われることが多かった方
- 今年に入って、健康法を日々実践している方

ちなみに私は、今月 23 日に太極拳の支部の方々に向けた講話をする予定ですが、講話の中で「かかと落とし」についての話もして欲しいと注文がありました。「かかと落とし」は太極拳の動作にもあるのだそうです。つま先立ちをして、ドント踵を落とす・・・これをすることによって骨密度が上がります。以前、私の家内が転んで大腿骨を骨折した時、お医者さんから骨粗鬆症なので薬を飲むように言われました。私はそばに付き添っていましたから、薬はお断りしました。それから毎日「かかと落とし」を続けた結果、1年後、お医者様から「骨密度が上がっているから、薬は必要ありません」と言われました。「かかと落とし」は朝昼晩 30 回くらいずつやればよいでしょう。

もう一つ、高血圧の予防に良い運動をご紹介します。太極拳の人たちは「水平足踏み運動」と言いますが、私は「もも上げ運動」と言っています。山崎先生の道場では、「膝上げ運動」と言うそうですが、皆同じです。これも身体には良いのでお勧めです。

どうぞ自分にあった運動を探して、ポイントは毎日やることですから、続けられることをお勧めします。

- 今年に入って、我ながら自分磨きをよくやっている方

自分磨きは、自分のレベルアップです。健康法と絡ませながら工夫してみるとよろしいでしょう。

- 昨晚、明日以降のことを過去形でイメージして寝た方

注意して欲しいのは、過去形です。明日はこういうことをやりたいとか、段取りをイメージするものではありません。

私は、先ほど申しました太極拳の講話が終わって、<会場から万雷の拍手をもらった。気分が良いな・・・> と思いながら眠るようにしています。イメージしたものは、だいたいの現実になって来ます。その実験として、次回の朝稽古で、<自分で意識を変えることによって、これだけ身体が変わる>という体験をしていただきましょう。興味のある方は是非、ご参加下さい。

### キャッシュレス化の波

昨晚、或る地方銀行の新年会で頭取と話をしました。「もし、デジタル通貨を日銀が発行したら銀行は立ち行かなくなりますね」とお聞きしたら、「その通りです」と言っておられました。自分の銀行がこれからどうなっていくか、不安や様々な思いが入り混じって

いると感じました。

また、先日、都市銀行の支店長さんがシムックスに来られたのですが、その方の服装がスーツではなくカジュアルだったと聞き、驚きました。銀行はもう従来の銀行ではないという自覚を持つのに、まず服装から変えていこうという運動をしているのだそうです。こちらも生き残るのに必死なのだと感じました。銀行は今、どんどんスタイルを変えていますから、お客様に対する対応もだいぶ変わって来るだろうと思いました。

前回、スマホなどのデジタル決済に慣れていないと商売を続けるのは難しいだろうという話を致しました。今は、銀行口座を持たなくても、スマホがあれば買い物ができます。アフリカはもうスマホ決済が当たり前になっていますし、中国も同じです。キャッシュレス時代に入ったことによって、こちらでも戦争が始まっていますね。

日銀がデジタル通貨を発行するという事は、銀行は無用という意思表示になります。中国は国家としてデジタル通貨を発行すると公表していますし、スウェーデンでは既に始まっています。

私が気になっているのは、どこかがデジタル通貨の総元締めになって、世界的な基軸通貨としてのデジタル通貨の発行があるのではないかと思うのですが、今のところそういう方向ではありません。それぞれの国で始まっています。日本の場合は、6か国の中央銀行と話を進めています。

日銀関係の資料を読むと、日銀はデジタル通貨を発行しないと言い続けているけれども、或る日突然、政治的に決着がついて、発行せよという指示が出たら、即座に発行できるように準備をしているとありました。ですから、何時かは発行することになるでしょう。

### 今年は荒れる年

今年の干支は「庚子」、60年前は暴力が吹き荒れたという話を前回致しました。では今年はどうか・・・。

オリンピックの話が分かりやすいので申し上げます。私は、オリンピックが開催されるかどうかは五分五分だと以前から言い続けています。その理由は3つあります。

1つは、第三次世界大戦が起きる可能性が高まっている。先月、イランがウクライナ航空機を誤爆しました。もし飛行機にアメリカ人が乗っていたら、第三次世界大戦の火ぶたが切られていたかもしれません。

2つ目は、大災害が起きる可能性です。関東大震災級の地震が東京直下型で起きたなら、当然オリンピックは出来ません。南海トラフが起きる可能性を見ても、大地震は必ず起き

ます。いつ起きるか分かりませんが、どんどん近づいていることは確かです。

3つ目は、伝染病が流行した場合です。今回のコロナウィルスは、これに当たります。サーズでも終息までに8ヶ月かかりました。中国は被害を小さく見せようとしています、公表されている感染者数と死亡者数は、最初に発表された時はゼロが一つ足りないと思っ  
ていましたが、最近はまだ一桁増やした方がよいだろうと思っています。何故なら、隠避  
の仕方が半端ではないからです。

ちなみにアメリカでは今、インフルエンザで12000人が亡くなっているという報道があ  
ります。その報道の1週間くらい前に、ユーチューブで2万人が亡くなっているという数  
字が流れていました。こちらも凄まじい数なのですが、当たり前のようにインフルエンザ  
が広がってきていると、当たり前のこととして、もうニュースとして流れて来ません。

そう考えると、今回のコロナウィルスに対するマスコミの騒ぎ方は異常です。後ろで何  
かしらの動きがあるのだらうと思っています。普通で考えれば、国会で安倍さんが執念  
を燃やしているのは憲法改正ですが、それと今のコロナウィルスの狂騒曲とは繋がりませ  
んから、裏で何が起きているのか？ と思っています。世界的なものとしては、核戦争の  
前に細菌戦争の危険性が高まったという感じが致します。

### 通貨消滅

もう一つ、今年は荒れる年と申し上げた理由は、デジタル通貨です。デジタル通貨によ  
って通貨消滅の時代がかなり早まっている気が致します。リブラという仮想通貨を叩こう  
という動きが各国で広がっていますが、国家以外で発行したデジタル通貨が一気に広がる  
危険性があると思っています。そうすると、それぞれの国家が国家としての機能をなくす  
ことに繋がる可能性があります。

国家を構成するのは、国土があり国民がいて、その国を代表する政府がある、尚且つ他  
の国々が認める、という条件が備わって初めて国家として承認されるわけです。その考え  
方を崩してきているのが、デジタル通貨です。

デジタル通貨を使う人たちは、国境は関係ありません。今や、国を超えてデジタル通貨  
が発展をしてきています。とんでもない世界が出現する可能性がとんでも高まったと感  
じます。ですから、デジタル通貨を意識して見ていかれると良いと思います。キャッシュ  
レス化も意識していないといけません。

今年は荒れますから、一瞬にして仕事をなくす、飯が食えなくなる危険性があります。  
同時に、とんでもないチャンスがゴロゴロ転がっていますから、一瞬にして莫大なお金を

得ることもあり得ます。ただし、通貨は消滅するわけですから、お金という形で表れるかどうかは分かりません。

ということで、もう一冊回覧している本が、『2049年「お金」消滅—貨幣なき世界の歩き方』（斉藤賢爾著 中公新書）です。この本は、現在の状況を踏まえて徐々にこういう順番でいくと通貨が消滅する社会になる、という一つの仮説を出しています。これから通貨消滅に関する本がどんどん増えるでしょう。

通貨が消滅した後は、国家で見れば循環型社会で、自給自足をしなければなりません。これは10年、20年の動きとして必要だと思います。それから先は、国がなくなって仮想国家が生まれてくるのではないか、という兆しがあちらこちらに見えます。そういう流れのカギになるのが、日本で言えば日銀がデジタル通貨を発行するかどうかということになります。そうすると、今ある仕事はかなり消えてしまいます。

こういう流れの中で、これから注意して見ていくべき国を申し上げます。

まず、イスラエルは化けものになる可能性があります。仮想通貨を発行する時に悪さ出来ないような仕組みをブロックチェーンと言いますが、その計算処理をするマイニング技術に優れています。

サウジアラビアは、砂漠の砂から電池をつくる技術を開発しています。

北朝鮮はレアアースなど地下資源が沢山あることと、ブロックチェーン技術では最先端を行っています。

こう見ていると、アフリカと東南アジアが鍵ですね。アフリカの新興諸国と東南アジアの国々を意識して見ていると、とんでもない技術が生まれてきて、世界をけん引するものが出来るのではないかと思います。

庚子の「子」は一気に広がるという意味ですから、とんでもないものが一気に広がっていく可能性があります。一例として、ベトナムでは今、バイクタクシーが一気に広がっています。バイクタクシーを呼ぶのはスマホで、配車アプリを開発した会社はミャンマーやシンガポールに進出しています。これから1、2年の間に、東南アジアにバイクタクシーが一気に広がると思っています。その配車アプリは登録も利用も無料で使えるわけですが、無料ほど、燎原の火の如く広がる商売はありません。ヤフーで検索をする時、お金を払っていませんね。無料だから一気に広がったのです。

ということで、従来のお金の感覚と違うお金の使い方が始まっていると感じます。お金でサービスを買う時代が、終わりになるかもしれません。お金に関係ないところで世の中は動き出していると思っています。



世の中はどんどん変わって来ますから、目を皿のようにしてアンテナを張っていないと  
もったいないと思います。

お時間になりました。本日の講話はこれで終了致します。